

花と緑の銀行だより

183号 2012.5



花に囲まれた保育園／高岡市

目次

- ・花と緑の提言..... 2
- ・活動事例 〈田園地帯のなが〜い花壇（高岡支店）〉..... 3
- ・技術講座 〈種播きから始めよう1〉..... 4
- ・技術講座 〈富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン〉..... 5
- ・緑づくりコーナー 〈庭木等として植栽されるハナミズキ〉..... 6
- ・この人あり 〈花と緑の豊かな住みよい町づくり（富山支店）〉..... 7
- ・お知らせ..... 7



新たな「公益財団法人 花と緑の銀行」の スタートにあたって

公益財団法人 花と緑の銀行
理事長 柳野隆之

平成24年4月から公益財団法人 花と緑の銀行 理事長に就任しました柳野でございます。どうぞよろしく願いいたします。

当銀行は、昭和48年5月に置県90周年記念事業の一環として設立され、このたびの公益法人制度改革に伴い、平成24年4月1日から公益財団法人として出発することとなりました。

これまで、県、花と緑の銀行本店、市町村の支店、旧校下単位の地方銀行、そして、家庭・地域・学校・職場・公共施設が相互に連携するとともに、広く県民の皆様の参加と協力を得て、花と緑の豊かな、快適で健全な地域づくりを進めてまいりました。

活動に当たっては「花と緑をはぐくむ」、「花と緑にふれあう」、「花と緑をすすめる」の3つの柱を中心として「花と緑といのちが輝く富山」を目指しています。

「花と緑をはぐくむ」では学校や公園などの花壇整備による花と緑の拠点づくりや身近な花と緑の保全・育成、「花と緑にふれあう」では花と緑の各種コンクールや自然環境と森林の活用、「花と緑をすすめる」では各地域で先頭に立って活動される頭取・グリーンキーパーさんなど、緑化指導者の育成や技術向上支援、を中心として、地域住民による地域の特性を活かした活動を進めています。

ところで、「銀行」と言うことばになぜ？と思われる方も多いと思います。「銀行」と言えばお金を預けたり、借りたりするイメージが強いのではないのでしょうか？「花と緑」を推進する際にも、まず、銀行から提供された種や苗を上手に育ててたくさん増やしていただく。そして、増えた種や苗をもう一度銀行に戻していただいて、さらに、増殖・拡大を図り、次から次へと「緑花」の輪を広めて行く。このことを考えればまさに、「銀行」と呼ぶにふさわしい表現と言えます。その際、単に、種や苗を増やすだけでなく、花と緑を楽しむ方法や地域の潤いと彩りを豊かにする方法についても活発に情報交換いただき、心の付加価値と言う「利息」を付けて次々とバトンタッチしていただければ、「銀行」が果たす役割はもっともっと大きくなると思います。

「花と緑の銀行」が設立されて、39年が経とうとしています。これまでのたくさんの方々の活動を通じて、県内の「緑花」は確実に、また、より華やかに進展してきております。また、これらの事業を通じて知り合われた人々が新たなグループを作られ、より深く、花と緑に親しむ活動を展開されたり、学校での花壇づくりを契機に、子供たちが地域での花づくりに積極的に協力するなど、花と緑を愛する心も大きく育ってきていることを、強く感じております。

今後とも、県民の皆さんが主役となって花と緑の県づくりに積極的に参画され、富山の自然との調和の基に、さらに充実した花と緑が進展し、多くの方々が花と緑に親しみふれあうことによって、より一層、「花と緑といのちが輝く富山」が実現することを願って、就任のご挨拶とさせていただきます。

田園地帯のなが〜い花壇

高岡市下伏間江地域環境保全委員会

代表 深田 紘之

私達の地域は、庄川左岸の高岡市南東部に位置し、約38haの水田が広がる地域です。春には青々とした水田が、秋には黄金色の稲穂が実るといって、一年を通じて農村として季節の変化をはっきり感じられる良いところです。

市街地に近いので開発の盛んな地域として注目されている場所でもあります。戸数49戸、住民約200名の集落の東には庄川堤防、西には大型SC、そして北には2014年度の開業をめぐり建設中の北陸新幹線高架橋があり、3方向を囲まれて南方向のみが遠く南砺の山々を望む農村地帯です。

先人たちが作り上げた、整然と整備された農村環境は私達の宝であり、自然を大切に乱開発を避けようという地域住民の意識は高く、その一環として平成19年に当地に「下伏間江地域環境保全委員会」が発足しました。



農村環境や景観の向上は勿論、町民全体のコミュニケーションを深めることを狙いとしてできたのが、長さが360m、幅が75cmの農道沿いのなが〜い花壇「花とみどりの散歩道」です。この愛称は当地の児童から募集をして決めました。

発足当初は「農道脇の花壇」として土の入れ替えを実施し、路肩の舗装整備もしました。委員会が中心となって、花壇への施肥・防除は勿論、花壇のデザインや植栽する花の種類を検討し、花苗の手配もしています。また、「老人会」の方々はプラグ苗からポットへの移植作業を一緒に行っています。



なんとといっても一年草は、カラフルです！毎年夏花5〜7種類程度を、1500本から2500本程度準備をして、稚苗から成苗になるまで委員会が水やりのお世話をします。

花苗も大きくなり、6月の移植の時期が来れば全町民での「花植え」となります。

花苗を花壇へ移植する「花植え」は当町内の大きな行事の一つです。小さな子供や小学生そして高齢者の方々まで世代を超えて参加し、全長約400mの農道で“絆の場”が出来る楽しい一日となります。

そんな時ほど花の持つ力の大きさを感じる時はありません！参加者皆さんが花に親しみ、あふれる笑顔で花植え作業を楽しんでいる様子は誠にいいものです。

一旦花壇に植えたら、しばらくは水やりをしなければなりません、花壇を6ブロックに分けて班別に“水やりや除草などの管理を住民総参加”で10月まで行っています。



変化の有る立体的な花壇を目指し、多年草も植えたので、「ガウラ」や「ラベンダー」も楽しめます。稚苗の育成に失敗をしたこともありました。あまりにも暑い夏に枯らしたことも・・・。

今や地元の花ロードとして、朝の散歩やジョギングのコースとなり、見知らぬ皆さんからも声を掛けられ、挨拶を交わす様にもなりました。

町内の方々の協力は勿論、応援を頂いている方々のおかげさまにより、「町並みフラワーラインコンクール」に毎年参加をして平成21年から3年連続の「高岡市長賞」を受賞しました。これを機に益々頑張らねばと意気込んでおります。これからも末永く続ける工夫をしながら、「花とみどりの散歩道」が高岡駅南地域の名所となることを願っています。



市販種子を用いた夏花壇品種の選定

農学博士 松本美枝子

多くの皆さんは、花壇苗として、購入苗を利用されます。しかし、購入苗は花の形・色・大きさは目の前にあるのでわかりますが、その他の特性がわからない場合があります。

同一品目であっても品種によっては、草丈の高低、側枝発生程度、草姿（立性かアイビータイプ）など、大きくなるとイメージしたとおりの花壇にならないこともあります。

その点、カタログなどの特性情報から、品目・品種を選べば、上記のようなリスクは軽減できます。この場合、種まきや育苗管理作業が必要なこと、そして育苗スペースと簡易な加温等の施設が必要な場合もありますが、種子まきから花壇が最盛期を迎えるまで、花に愛着が湧いてきます。今回は、品目、品種を選定する場合のポイントについてお話しします。

◎品目・品種選びのポイント

夏の花壇を飾る花は、熱帯で生まれた野生の花を親に用いて育種したものが多く、発芽および生育には高温が適しています。しかし、これらの品目の、播種・育苗時期は比較的低温の低い時期になります。4月上旬以前に播種したい場合は、温度の高い場所（室内もしくは施設）を確保する必要があります。表1に、夏花壇用品目（一部）の特性について示しました。

6月～10月に花壇を彩る花はいろいろありますが、これらはいずれも発芽温度は20～25℃、生育温度は15～30℃程度のもので多く見取れます。なお、ここに示した名前は品目名で、この中に多くの品種があります。各品目の草丈に幅があるのは、（栽培方法によって、成熟期の草丈に幅があることを示しているのではなく）草丈の異



平成23年度 頭取・グリーンキープステップアップ研修の成果なる品種が市販されていることを示しています。花壇には手前に丈の低いもの、奥に丈の高いものを植えこみたいものです。

例えば、ダイアンサスは、草丈が30～70cmとありますが、草丈が30cm程度のスープラやダイアナ（サカタ）、テルスターやスプリンター（タキイ）シリーズが、40cm程度の各種シリーズが、50cmのものとしてはエレガンス類が、60cm以上のものとしてはミーティアやフォントシリーズがあります。また、草丈が短い四季咲き性品種は、定植後早く開花し、少し切り戻すと継続して花が咲きますが、エレガンスやミーティアは、開花まで時間がかかり、切り戻すと、観賞期間中に花が咲かないことがあるので注意して下さい。昔ながらのナデシコが、育種により、こんなにも多様化した素晴らしい園芸品目に進化しました。

また、ヨーロッパ各地の街並みを飾るゼラニウムは、ヨーロッパで育種されたものが多く、大花系、小花系の他に、一重、八重、半八重が、さらに葉の色が異なるもの、芳香を発するセンチッドゼラニウムがあり、立性タイプ、アイビータイプがあることから、様々な利用が可能です。日本

で育種された斑入り葉のゼラニウムは、花壇全体の落ち着きを醸し出します。なお、生育期間が長く、株はどんどん大きくなりますが、株元がはげ上がりやすいので、間引きや選定などでバランスを保ち、長期間にわたって楽しんでください。軒下や室内では、越冬も可能です。

表1 4・5月植え展示花壇に利用可能な草花を作るために

名前	和名	科名	原産地	覆土	発芽期間	耐寒性	耐暑性	宿根性	草丈	開花時期	発芽適温	生育温度	
アケボノ	オキナクサ	キク科	メキシコ・パナマ	×	8～10日	△	◎	×	20～60	6～10月	24～25℃	15～25℃	1年草
インパチェンス	アフリカネリケ	アフリカネリケ科	南アフリカ	×	4～6日	×	○	○保温	20～50	6～10月	22～24℃	15～30℃	1年草
ルッコラ	ルッコラ	アブラナ科	全世界	必要		◎	◎	◎	25～100	—	20℃	-15℃<	多年草
オキナクサ	オキナクサ	キク科	南アフリカ	必要	7～12日	◎	◎	◎	15～40	5～10月	20～25℃	13～16℃	多年草
イトリ	イトリ	ヒユ科	熱帯アジア	×	5～7日	×	◎	×	20～150	7～10月	20～30℃	15～30℃	1年草
ヨリカ	ヨリカ	アブラナ科	熱帯アジア	×	10～14日	×	◎	○挿し芽	60<	—	21～24℃	15～30℃	1年草
オキナクサ	オキナクサ	アブラナ科	熱帯アジア	必要	7～10日	×	◎	×	30～60	7～10月	20～25℃	15～30℃	1年草
ジニア	ヒメアザミ	キク科	中央アメリカ	×	5～7日	×	◎	×	20～100	7～10月	20℃	15～30℃	1年草
スライム	スライム	イネ科	アフリカ大陸	×	20日	○	◎	◎	30～80	—	20℃	12～18℃	多年草
ゼラニウム	ゼラニウム	ゼラニウム科	南アフリカ	×	5日	○	○	○挿し芽	20～100	3～12月	20～25℃	5～25℃	1年草
アケボノ	アケボノ	キク科	中国	必要	5～7日	◎	◎	◎	30～70	周年	16～20℃	5～25℃	多年草
アケボノ	アケボノ	キク科	メキシコ	×	4～7日	◎	◎	◎	20～120	7～10月	18～20℃	10～28℃	多年草
トリア	トリア	アブラナ科	熱帯アジア	×	12日	×	◎	×	15～30	6～10月	21～24℃	15～28℃	1年草
パルマ	パルマ	アブラナ科	アフリカ大陸	必要	7～10日	○	◎	◎	40～100	4～10月	16～20℃	5～25℃	1年草
ペンカ	ペンカ	アブラナ科	マダガスカル	必要	7日	×	◎	×	20～60	6～10月	20℃	20～25℃	1年草
パルマ	パルマ	アブラナ科	アフリカ・アジア	×	8～10日	△	△	△	25～60	4～10月	20～25℃	10～30℃	1年草
パルマ	パルマ	アブラナ科	南米	×	5～7日	○	◎	◎	20～50	4～10月	24～25℃	10～30℃	1年草
パルマ	パルマ	アブラナ科	熱帯アジア	×	14～21日	×	◎	○保温	30～60	4～10月	20～25℃	15～25℃	多年草
パルマ	パルマ	アブラナ科	アフリカ・メキシコ	×	2～7日	×	◎	×	15～25	6～9月	24～27℃	14～30℃	1年草
パルマ	パルマ	アブラナ科	メキシコ	必要	7日	×	◎	×	20～90	6～10月	22～24℃	10～30℃	1年草
パルマ	パルマ	アブラナ科	メキシコ	必要	7日	×	◎	×	50～60	5～9月	20℃	15～30℃	1年草

富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン

キョウガノコ

職藝学院

教授 渡邊美保子

キョウガノコの名前の由来は、つぼみが膨らみだした頃の姿が京染めの鹿の子絞りに良く似ていることからつけられました。6月頃、つやのある薄紅色の小さいつぼみのつぼみが集団で現れます。花が開くと、まるでひなまつりのちらし寿司にふりかけてあるふわふわの桜でんぶそっくりになります。一つ一つの花はとても小さく、よく見ると5枚の花びらを持っています（写真1）。



写真1

草丈は、60cmから70cmほどで、満開になる頃には花の重みで少しうなだれた姿になり、その花を支える茎は鮮やかな紅色をおびています。葉からちらりと覗かせているその姿は、ドキッとするような色っぽさがあります（写真2）。キョウガ



写真2

ノコは、花が咲き終わってもすぐに茶色にならずに、しばらくの間うっすらと赤く染まったままであるため、つぼみが色づいてからの観賞期間がとても長く、花は終わっているのにこれから咲かせてくれるのかなと思わせるほどです。

お庭の南側に枝葉の広がる落葉樹などがある場合は、その下の明るい木漏れ日がさすような場所がお気に入りです。水はけがよく少し湿り気のある土壌を好みます。ソメイヨシノが咲く頃には、わさわさと葉が茂ってきて、雑草よりも一足先に地面を覆ってくるので、広い面積に植えつけますと除草の手間も省けます。病気にも害虫にも強く、長年植えばなしでもほとんど手間がかかりません。また、その場所が気に入りますと、そこでゆっくりと生長を続けてゆく寿命の長い宿根草です。

春から秋まで楽しめるおすすめ組み合わせは、シュウメイギク、ギボウシなどです（写真3）。切れ込みのある薄緑色のやわらかな風合いの葉は、風にゆれるたびに庭を明るくします。また、シュウメイギクをキョウガノコの後ろに植えますと、夏の終わりから花茎を伸ばすシュウメイギクは、キョウガノコの株に支えられて暴れることがありません。清楚で控えめな姿は、着物の似合うやまとなでしこといった趣きがあり、和風の庭にも良くあいます。



写真3

—庭木等として植栽されているハナミズキ—

日本樹木医会富山県支部
樹木医 西村正史

毎年4月下旬から5月上旬にかけて、県内の市街地の道路沿いに植栽されているハナミズキの花が咲き、ドライバーや通行人を楽しませてくれます。この樹木は、庭園木や庭木としても植栽されており、親しみのある樹木です。

1. ハナミズキ

この樹木はミズキ科ヤマボウシ属の落葉樹で、アメリカ東部海岸からメキシコにかけて分布しています。高さは5～12mです。1912年、東京市長尾崎行雄がアメリカにサクラを送った返礼に、アメリカから送られた樹木としても有名です。日本には本来生息していない樹木ですが、日本のヤマボウシによく似ていることから、アメリカヤマボウシとも呼ばれます。ヤマボウシとの違いは花の咲く順番が違います。ヤマボウシは葉が開いたあと花が咲きますが、ハナミズキは逆です。さらに、「花」の形も違います。花弁のように見える総苞片の先端がくぼんでいるのがハナミズキ（写真1、写真2）で、くぼんでいないのがヤマボウシ（写真3）です。

2. 生育特性と主な病害虫の対策

半日陰地でも育ちますが、日当たりのよい、適湿の肥沃地でよく育ちます。実生と接木で増やすことができます。

主な病害虫としては、アメリカシロヒトリやうどんこ病等があります。前者では、5月下旬～6月下旬の期間（第1世代）と8月上中旬の期間（第2世代）は巣網（写真4）の中で、若齢幼虫が集

団で食害していますので、この時期に巣網を高枝バサミ等で除去する方法が最もよい方法です。この時期を過ぎれば単独で食害し始めますので、デミリン水和剤の4000～8000倍液、スミチオン乳剤の500～1000倍液等の散布で対応してください。後者では、発生初期にトップジンM水和剤の1000倍液等の散布で対応してください。



写真2 ハナミズキの花



写真3 ヤマボウシの花



写真1 ハナミズキの花



写真4 アメリカシロヒトリの巣網



花と緑の豊かな住みよい町づくり

花と緑の銀行富山支店

大広田地方銀行頭取 **城石 泰民**

私の暮す大広田地区は、富山市の北部に位置しています。古くから工業団地に隣接しており、工場周辺に緑地が計画的に配置されています。大広田地方銀行では、三菱レイヨン東側銀杏並木通り（那智町緑地）を活動場所として「花と緑の豊かな住みよい町づくり」を目指し、花の道づくり事業に取り組んでいます。

活動の内容は、プラグ苗の鉢上げ、チューリップ球根の掘り取り、除草、黄花コスモスや平成21年度に富山市の花となった「ヒマワリ」の種まき、育成した花苗による花いっぱい活動（花の里親）、チューリップの植栽などです。チューリップの植栽では、馬力のある高校生が大活躍します。また、小学生や中学生の子供たちも、プラグ苗からポットへの鉢上げや種まきに活躍します。小・中学生と地域の皆さんが一緒になって、明るい地域づくりができるように特に気をつけています。地域の子供さんには、花を通じて「心の優しさ」、「心の豊かさ」、「命の大切さ」を実感して欲しいと考えております。ボランティアの皆さんは、例えば、チューリップの花が散ると色がわからなくなるので、花のあるうちに色つきテープで印を付け

たりと、活動がうまくいくように細やかな心遣いで、支えてくれます。花の道づくり活動では、新たな若い住民と古くから居住する住民の町内を越えた交流も生まれています。震災の被災者の皆様の心を癒したいという発案が若い世代から出てきて、昨年5月に宮城県石巻市の避難所へプランターや花苗、培養土を送ることができました。ボランティアが被災地まで運搬しました。

また、今年度より役員の皆様のご推薦により「とやま花と緑の推進協議会」の会長となりました。この協議会は富山市の富山地域の50の地方銀行で構成する協議会です。会員の皆様の地方銀行の範囲を超えた花と緑の活動の企画・運営に、がんばって行きたいと考えております。



〈お知らせ〉

平成24年度花と緑のコンクール実施予定

コンクール名	応募締切 ^{*1}	一次審査(予選)	審査日
富山県花のまちづくりコンクール			
幼稚園・保育所花壇部門	7月11日(水)	各支店(市町村)で実施	7月19日(木)～7月20日(金)
学校花壇部門	7月18日(水)	各支店(市町村)で実施	7月26日(木)～7月27日(金)
花の道部門 ^{*2}	7月25日(水)	各支店(市町村)で実施	8月2日(木)～8月3日(金)
一般花壇部門 ^{*2}	8月1日(水)	各支店(市町村)で実施	8月8日(水)～8月10日(金)
花と緑の標語コンクール	7月31日(火)	8月中	8月29日(水)
花と緑のポスター原画コンクール	9月10日(月)	9月12日(水)午前	9月12日(水)午後

^{*1} 各支店(市町村)で予選を実施する部門は、各支店に締切日を確認して下さい。

^{*2} 本年度から個人花壇については一般花壇及び花の道部門において審査対象となります。

花しょうぶ祭りの開催について

県民公園頼成の森に親しんでいただくことを目的に、今年も6月22日(金)～7月1日(日)の10日間、「第27回頼成の森花しょうぶ祭り」が開催されます。詳細はホームページ等でお知らせいたします。

表紙写真：花に囲まれた保育園（高岡市）

裏表紙写真：ミツガシワ



ミツガシワ



花と緑の銀行だより 183号

発行日 平成24年5月

編集発行 公益財団法人 **花と緑の銀行**

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-2425

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/>

県民公園頼成の森

〒939-1431 富山県砺波市頼成156

TEL 0763-37-1540

FAX 0763-37-1450

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/ranjyounomori/>

再生紙を使用しています。